

2016年10月14日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部

岐阜済美学院 100周年 中部学院大学短期大学部 50周年記念事業

シンガーソングライター新沢としひこ客員教授と学生が 特別支援学校の児童と音楽交流を図る

中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）幼児教育学科（学科長 白幡 久美子）では、シンガーソングライターとして幅広く知られ、本学客員教授を務める新沢としひこさんを毎年講師に招き、毎年、ワークショップなどの特別講義を開催しています。今年度は、新沢氏と同学科の学生が、障がいのある児童らと音楽を介した交流を行います。

同学科2年生は、授業の一環で、中濃特別支援学校小学部の子どもたちとさまざまな交流を行っていますが、中でも土屋明之ゼミナールは、新沢さんの歌を通して、子どもたちと交流しながら、障がいのある子どもたちへの理解を深めています。今回は、同ゼミ生15名に新沢さん自身も加わり、これまで学生が積み重ねてきた学びを新沢さんとともに実践し、児童・教員と交流し、学びをさらに深めます。

記

- 日時 2016（平成28）年10月26日（水）午前9時50分～10時40分ごろ
- 場所 中濃特別支援学校 ホール
（関市桐ヶ丘二丁目3番地 TEL 0575-24-1773）
- 備考 ぎふ清流交流プラザとタイアップ
「新沢としひこ音楽あそび講習会」を1月に開催予定

幼児教育学科は岐阜県の福祉拠点の一つ「ぎふ清流文化プラザ」と連携し、障がいのある子どもたちとの音楽交流も進める予定です。2017年1月28日（土）には同プラザで、新沢としひこ音楽あそび講習会を開催します。対象者は、幼児教育学科の学生と卒業生、特別支援学校関係者、地域の保育関係者。今回の中濃特別支援学校との交流は、障がいのあるなしに関わらず、音楽を介して子どもとのコミュニケーションを深めることを目的としています。

【新沢としひこさん プロフィール】

学生時代よりライブハウスで音楽活動始める。保育者を経験後、雑誌に毎月歌を連載し、CD や楽譜集を発表。1991年デュオグループ「Mr. ユニット」でCD デビュー。1993年に解散。以後現在まで、ソロコンサートのほか、ケロポンズ、中川ひろたかななどとジョイントコンサート、工藤直子との詩と歌のコンサート、その他アートヨガ・食育に音楽を提供、保育士講習会講師、講演会と年間多くのステージをこなす。CD制作・エッセイ執筆・絵本、児童文学の出版など、マルチに才能を発揮。「月刊保育とカリキュラム」（ひかりのくに・刊）に、『新沢としひこの超カンタンミラクルピアノレッスン』を連載。ドラマのタイトルにもなった「さよならぼくたちのようちえん（ほいくえん）」ほか、「世界中のこどもたちが」「にじ」「ともだちになるために」などが保育現場や小学校で特に有名。

2011年度から本学客員教授。同じ事務所の山野さとしさんとともに、多彩な音楽活動を展開している。

以上



（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部 幼児教育学科（担当：杉山祐子教授）

TEL:0575-24-2211 E-mail:ysugiyama@chubu-gu.ac.jp